

# 心ひとつに

弥富市立桜小学校  
学校だより  
No.17  
平成28年1月15日

## 具体的な目標を決めましたか

2016年がスタートし、わたしも、ささやかながら目標を立てました。それは、毎日、自宅の周り（約3km）をウォーキングすることです。普段、運動することがほとんどなく、イスに座って、パソコンに向かうことが多いわたしは、最近、肩こりや腰痛、筋肉の衰えを感じるようになりました。

そこで、今年は、ささやかながらこの目標を立てて、ウォーキングを始めました。今まで人間ドック前の問診票では、1日の運動時間が、恥ずかしながらほとんどゼロに近いのが現状でしたが、やっと30分以内の欄に○印を打てそうです。

ウォーキングしていると、道行く人との新たなふれあいがあったり、木々や田畑の風景など、自然にふれる楽しさや爽快感を感じたりすることがあります。心身の健康のために、このささやかな目標を継続していきたいと思っています。

みなさんも、勉強でも運動でも、何でもいいので、具体的な目標を決めて、実践していきましょう。



## 全校朝礼の話よりー1月13日（水）

みなさんは、映画**ビリギャル**を観たことがありますか。（3～4人手を上げる）  
校長先生は、3連休にDVDで**ビリギャル**を観ました。これは、65万部突破し、2014年年間ベストセラーランキング総合4位に輝く話題の本を映画化したものです。

これは、「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した実話をもとに作った映画で、女優の有村架純さん主演の涙と感動の映画です。

高2の夏に学年ビリ、学校からは人間のクズとものしられていたある女の子が、塾の講師、坪田先生に出会い、偏差値70の合格するのがたいへん難しい慶應大学に現役合格をめざすことになります。

周囲の反対、思うように伸びない成績、友達と遊べない孤独。それでも多くの障害を乗り越え、慶應合格という夢に向かって突き進む主人公ささやかなの姿は、やがて、周囲の人々を変え、崩壊寸前だった家族の絆を取りもどしていきます。坪田先生の支えと家族の愛情、仲間の励まし。明日からがんばる勇気とヒントをくれる、汗と涙と笑いのいっぱいあったストーリーです。

実話にもとづいていると言いつつも、映画ですから、脚色された部分やオーバーな演出もあります。しかし、不可能と思えるような目標や夢に向かって努力を続け、目標の大学に合格したことは、素晴らしいことです。

みなさんも、この**ビリギャル**のように夢に向かって、無理を成し遂げる努力や夢に向かって挑戦をしていってくれることを願っています。

